



## 町長室だより

築上町長 新川 久三



暑さ寒さも彼岸までと言われますが、朝晩はめっきり冷気を感じる季節となりました。また山の木々も色づき始め晩秋の候ともなりました。

### 職員を飲酒運転で懲戒免職

9月16日、会計年度任用職員(非常勤で年休等代替補充職員)で60歳代の女性保育士が飲酒運転で現行犯逮捕され、町職員懲戒審査委員会に諮問した結果、懲戒免職に該当する答申を受け、10月5日付で答申どおり地方公務員法と条例の規定により懲戒免職の処分としました。

事件再発防止のため、職員の綱紀粛正を徹底して全体の奉仕者として町民の方の信頼を得られるよう職員指導を行ってまいります。

### 金富神社鎮座1300年

10月16日に湊の金富神社で創立1300年記念式典が開催され、この式典に招待を受け参加をしました。

椎田町史によれば、金富神社は聖武天皇時代に建立され、七二四年の宇佐神宮建立の際、神託により斧立の行事を金富神社で行い、以後の改築の際は必ず本庄の木材を使用し、その運搬途中必ず金富神社に立ち寄ったとあります。また朝廷の宇佐神宮への勅使も必ず金富神社に参向することは永く恒例となっていたとの記録があり、金富神社は宇佐神宮の元宮とも言われています。

このことから、初卯祭(榊山神事)で榊山神幸行事宇佐宮御宮造の始を記念する祭典を毎年二月初卯日に行い、神輿を奉して区内を巡行しています。

また旧暦六月晦日の夏越祭(なごしさい)では、舟に神輿を乗せ海を巡行し、「群衆は海に身を浸し身潔大祓行事が盛大に行われ地方稀に見らるゝ處(ところ)なり。」と町史に記述されています。神社建立当時は築城郡安岐水戸(湊)の金富岡に三間の假殿(かりどの)を作りと記載があり現在地が現在よりは高台ではなかったかと思われる。160年後の醍醐天皇時代に建て

替えられたとの記述があります。境内社として菅原神社(天神原の綱敷天神を遷して合祀)、須佐神社、金毘羅社、貴船神社、厳島神社(鬼塚の六社神社を合祀)、稻荷神社及び水神社が敷地内にあります。

### 自治功労表彰受賞

10月5日に寺田総務大臣から在職20年以上の市町村長と12年以上の市町村議長が永年勤続の表彰を受けました。市長7人、町村長9人、議長4人の計20人が対象者で、凶らずも私も町村長

9人の中の1人となり表彰状をいただきました。これも椎田町長1期、築上町長4期の長きに渡り町民の皆様への負託をいただいたたま物です。またその間町政に参画ご協力をいただいた皆様と職員及び家族のおかげと感謝いたします。今後も良き町政運営のため頑張っていく所存です。

町民の皆様には向寒の季節となりますので、健康にご留意いただきご自愛くださることをお願いします。



▲ 町村長9人のうち、5人が表彰式に出席